

かつのおおおはし
勝尾大橋

[概要]

本橋梁は、佐賀県基山町（県道基山平等寺筑紫野線）から九千部山南斜面を通り、みやき町、上峰町を経て吉野ヶ里町（国道385号線）までを結ぶ延長約22.4kmの森林基幹道九千部山横断線の一部として計画されたものである。

平成2年度事業採択より25年の歳月をかけ平成27年5月17日に全線開通となった。全線開通により森林作業の効率化と良質な地域木材の安定供給に大きく寄与するとともに、都市近郊型森林地域としての活性化が期待されている。

発注者：佐賀県 東部農林事務所（旧鳥栖農林事務所） 殿
工事名：道整備交第7212001-001号九千部山横断線2-1工区道整備交付金工事（鋼橋上部工）
引渡場所：佐賀県鳥栖市牛原町

[仕様]

橋 長：187.000m
幅 員：5.700m
鋼 重：528.100t
鋼 種：SMA570W, SMA490W, SMA400W, SM490Y, SM400
橋梁形式：鋼3径間連続ラーメン鋼箱桁橋
架設工法：ケーブルクレーン片持工法



竣工写真

らいざんかわはし
雷山川橋

[概要]

本橋梁は、福岡県西区拾六町から糸島市二丈福井を結ぶ延長23.3kmの今宿道路（国道202号バイパス）の4車線化工事に伴い計画されたものである。

平成27年3月14日に本橋梁を含む波多江交差点から有田中央交差点間の延長2.2kmが4車線化となった。4車線化により、福重地区と二丈地区間の所要時間は約40分から約35分に短縮され、周辺地域の交通混雑緩和に貢献している。

発注者：国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所 殿
工事名：今宿道路雷山川橋上部工工事
引渡場所：福岡県糸島市波多江地内

[仕様]

橋 長：60.100m
幅 員：13.200m～13.954m
鋼 重：286.800t
鋼 種：SM490Y, SM400, SS400
橋梁形式：鋼単純非合成箱桁橋
架設工法：ベント併用クレーン架設
（縦引き・横取り架設工法）



竣工写真

しんもじかどうきょう 新門司可動橋

[概要]

本可動橋は、北九州新門司地区に耐震強化岸壁計画及び専有船社である名門大洋フェリーの新造船計画を基に計画されたものである。当該地区は、西日本最大級の内航フェリー基地であり、北部九州や山口地域の産業・経済を支える重要な役割を担っており、大規模地震発生時においても国内海上輸送機能を維持するための整備が進められてきた。

平成27年秋、名門大洋フェリーの新造船就航にあわせ本可動橋の稼働開始が予定されている。

発注者：国土交通省 九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所 殿
 工事名：北九州港（新門司地区）岸壁（-7.5m）（改良）（耐震）可動橋製作・設置外1件工事
 引渡場所：福岡県北九州市門司区新門司1丁目

[仕様]

形式：鋼橋式ランプウェイ
 門構：高さ18.800m
 有効幅員：海側8.510m～陸側6.510m
 橋長：40.105m
 揚程：9.321m
 駆動方式：（昇降）油圧シリンダφ450×7233ST
 （フラップ俯仰）ロータリーアクチュエータ
 回転角 205°

[特記]

- 平成27年度九州地方整備局国土交通行政功労事務所長表彰において北九州港湾・空港整備事務所長表彰を受賞
- 受注形態：名村・三井鉄構JV



竣工写真

はんぞうかわはしかけかえこうじけた 半造川橋架替工事桁

[概要]

本橋は長崎県島原鉄道区間の半造川河川改修工事に伴い、半造川島原鉄道橋の架け替え工事として計画されたものである。本明川の支川である半造川においては、治水安全度が低く、なかでも河道が屈折している本橋付近では流下能力が著しく低い状態であったことから、河川改修工事および半造川島原鉄道橋の架け替え工事が計画された。

本橋は新しい鉄道橋が完成するまでの仮鉄道橋として、地域の鉄道交通を支える役割を果たす。

発注者：三軌・宅島特定建設共同企業体 殿
 工事名：島原鉄道線幸駅～小野本町駅間半造川島原鉄道橋架替工事（仮線）に伴う工事桁他
 引渡場所：長崎県諫早市幸町～川内町地先

[仕様]

橋長：29.449m+19.450m
 幅員：4.600m
 鋼重：89.846t
 鋼種：SM400, SS400
 橋梁形式：単純下路プレートガーター 2連
 架設工法：ベント併用クレーン架設



竣工写真